

平成 25・26 年度 土木学会複合構造委員会 第 7 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 26 年 5 月 16 日（金）14:00～17:20
2. 場 所：土木学会 会議室 C
3. 出席者：島委員長，池田幹事長，大山幹事，葛西幹事，斉藤幹事，滝本幹事，西崎幹事，広瀬幹事，古市幹事，牧幹事，松本幹事，溝江幹事，渡辺幹事
久米村事務局員（欠席者：奥井副委員長，大久保幹事，下村幹事）

4. 配布資料

- 資料 幹7-0 第7回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹7-1 第6回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹7-2-1 平成25，26年度委員会・幹事会名簿
- 資料 幹7-2-2 複合構造委員会組織図
- 資料 幹7-2-3 幹事会作業分担（案）
- 資料 幹7-3 平成26年度委員会・幹事会スケジュール案
- 資料 幹7-4-1 平成25年度委員会会計報告
- 資料 幹7-4-2 平成26年度委員会予算（案）
- 資料 幹7-5-1-1 平成25年度委員会活動度評価・自己評価 活動度個別調査書
- 資料 幹7-5-1-2 平成25年度委員会活動度評価・自己評価 活動度評価結果
- 資料 幹7-5-2-1 平成25年度委員会活動度評価・自己評価 自己評価作成依頼
- 資料 幹7-5-2-2 平成25年度委員会活動度評価・自己評価 自己評価票
- 資料 幹7-5-2-3 平成25年度委員会活動度評価・自己評価 評価様式
- 資料 幹7-6 土木学会論文集A1特集号：複合構造 準備状況
- 資料 幹7-7-1 第5回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム準備状況
- 資料 幹7-7-2 第5回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム申込みリスト
- 資料 幹7-8 平成26年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）
- 資料 幹7-9 平成26年度全国大会・研究討論会
- 資料 幹7-10 小委員会設置の見直し
- 資料 幹7-11 新規小委員会（更新）
- 資料 幹7-12 出版関係
- 資料 幹7-13-1 小委員会一覧
- 資料 幹7-13-2 H101示方書委員会
- 資料 幹7-13-3 H181鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会
- 資料 幹7-13-4-1 H206ずれ止め小委員会
- 資料 幹7-13-4-2 H206講習会案
- 資料 幹7-13-5 H208FRP複合構造研究小委員会
- 資料 幹7-13-6-1 H209FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会
- 資料 幹7-13-6-2 H209出版企画書
- 資料 幹7-13-6-3 H209目次案
- 資料 幹7-13-7 H212耐荷メカニズム研究小委員会

資料 幹7-14 第3回委員会議事次第（案）

資料 幹7-15-1 「社会インフラメンテナンス工学」テキストブックの構成（案）に対する意見 アンケート依頼

資料 幹7-15-2 「社会インフラメンテナンス工学」テキストブックの構成（案）に対する意見 回答用紙

資料 幹7-16-1 H180（受託）FRP 水門技術ガイドライン作成小委員会 決算報告

資料 幹7-16-2 「FRP水門設計・施工指針（案）」講習会 Q&A

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

島委員長より、挨拶がなされた。

(2) 第6回 幹事会議事録（案）の確認（資料幹7-1）

池田幹事長より、第6回幹事会の議事録（案）の確認がなされた。変更点は以下の通りである。

- ・(3)論文特集号 論文数内訳として、3編は小委報告、9編は一般論文であることを追記する。
- ・(8)出版関係 「出版については」→「出版については」と修正する。

(3) 平成26年度複合構造委員会・幹事会体制（資料幹7-2-1, 7-2-2, 7-2-3）

池田幹事長より説明があった。委員・幹事構成に変更はなく、勤務先などの変更があれば久米村さんへ連絡をする。組織図ではH181を追加しているが、連絡幹事を大久保幹事に修正する。役割分担では300年プロジェクトのWGを加えた。議事録担当は現体制2年度目のため6を足して読み替える。構造工学委員会の担当は島委員長から広瀬幹事に変更する。論文集編集委員会A1は古市幹事から大久保幹事に変更する。古市幹事のH105連絡幹事は活動終了につき削除する。

(4) 平成26年度複合構造委員会・幹事会スケジュール（資料幹7-3）

池田幹事長より説明があった。今年度下期日程は後日メールにて調整する。講習会は、8月にH206、11月にシンポと合同でH208とH209が予定されている。

(5) 平成25年度委員会決算、平成26年度委員会予算（案）（資料幹7-4-1, 7-4-2）

池田幹事長より説明があった。平成25年度は主に幹事会、H005編集小委、H101示方書小委に使用した。2,381円残となった。平成26年度予算額は確定していないが、調査研究費は83万円との連絡があった。100万円と120万円の2パターンの予算配分案を準備しているが、いずれも小委の中ではH005とH101に重点配分した上で、他小委に配分する案としている。また、H181合成床版小委の受託研究費300万円があるが、学会のオーバーヘッドは含むが複合委のそれは含まないことを確認した。

(6) 平成25年度委員会活動度評価・自己評価（資料幹7-5-1-1, 7-5-1-2, 7-5-2-1, 7-5-2-2, 7-5-2-3）

池田幹事長より説明があった。平成25年度活動度評価はBランクであり、これに従い平成26年度調査研究費が前年度比約10万円減の83万円となった。Aランクになるには情報発信数2500人以上をクリアする必要がある。なお、Bランクでも調査研究費配分額は情報発信数に応じて増減する。自己評価については締切が23日であるため、21日までに年度末評価活動内容について気づいた点を池田幹事長に連絡することとなった。

(7) 平成25年度功績賞候補

池田幹事長より説明があった。5月20日に学会より記者発表があるが、複合委より推薦をした三浦顧問が受賞される。

(8) 土木学会論文集A1特集号：複合構造（資料幹7-6）

葛西幹事より説明があった。第1巻が今月末公開予定である。論文賞への推薦については6月の小委にて審議方法を策定する。田中賞・吉田賞についても対応を審議する予定である。第2巻の招待論文と小委報告については準備中である。その他として、予算と体制整備の必要性について説明があった。複合委とHPで特集号の第1巻発刊の周知を図ることとした。

(9) 第5回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（資料幹7-7-1, 7-7-2）

溝江幹事より説明があった。参加費は、H208とH209の講習会書籍代（約6,000円）を参加費に含め、正会員で¥14,000程度とした。著者には案内中である。投稿件数20件は目標を下回るため、募集を5月一杯に延長し案内を進めることとした。講習会と論文で内容重複を避けるため、論文投稿を控えている可能性がある。連絡幹事を通して、内容を書き分けて投稿するように呼びかけることとした。

(10) 平成26年度全国大会・年次学術講演会（資料幹7-8）

広瀬幹事より説明があった。36編・5セッションの編成案・座長案である。日付はまだ決まっていないが、3日目午後の討論会と合うように依頼をしている。座長候補の幹事には協力が依頼された。

(11) 平成26年度全国大会・研究討論会（資料幹7-9）

葛西幹事より説明があった。内容と話題提供者について議論をした。全てを延命化するだけでなく、作り直すものもある、という視点で内容を固めることとした。その際、難条件下での更新改築における複合構造のメリットを含める。座長は島委員長とし、話題提供者は関西開催を踏まえて選ぶ。以上を含めて、6月3日の締切の資料を作成する。

(12) 小委員会設置の見直し（資料幹7-10）

時間の都合上説明・議論は省略し、継続審議とした。

(13) 新規小委員会（資料幹7-11-1）

葛西幹事より説明があった。小委員会名称を「橋梁の維持管理における更新技術に関する調査研究小委員会」から「構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会」に変更することとした。研究計画は①から⑤までとし、⑤で「取り込む」を「反映する」と文言を見直した。

池田幹事長より他1件新規小委設立の動きがあるとの説明があった。

(14) 出版関係（資料幹7-12）

池田幹事長より説明があった。出版部数に関しては複合構造レポート07と08に誤りがあり、販売促進が必要となった。H206とH209については出版企画書が必要であり、6月25日の出版幹事会の1週間前までに大久保幹事に提出することとなった。複合構造シリーズ05は増刷の際に修正を検討することとした。

(15) 小委員会報告審議事項

H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹7-13-2）

斉藤幹事より説明があった。5月中に小委員会内で意見集約を行い、6月中に幹事団及び主要メンバーによる読み合わせを行い、6月複合委の意見照会用の原案を策定する予定である。6月複合委では印刷物を回覧し、改訂の要点をパワーポイントで説明することとした。

H181 鋼コンクリート合成床版設計施工指針作成小委員会（資料幹7-13-3）

大山幹事より説明があった。4月25日に第1回幹事会を開催し、5月23日に第1回小委を開催する予定

である。

池田幹事長より委員2名の追加について、第一種小委の手続きに則り、幹事会の承認を経て複合委の承認はML審議とすることが説明された。また、指針（案）の作成方針と示方書小委員会との関連を確認した。これらは小委に書面で伝達し第1回小委にて確認してもらうこととした。連絡幹事が大久保幹事であることも確認した。

H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会（資料幹 7-13-4-1, 7-14-3-2）

渡辺幹事より説明があった。8月22日に講習会が開催される。開催案内は締切が過ぎているためHPのみに掲載する。報告書の部数と単価を検討し、幹事会に後日諮る。また、小委のテーマの継続について議論があり、議題(12)と合わせて検討すべきとの意見があった。

H208 FRP複合構造研究小委員会（資料幹7-13-5）

松本幹事より説明があった。報告書執筆中であり小委はあと1、2回開催される。講習会はFRPシンポと合同開催であり、準備中である。

H209 FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会（資料幹7-13-6-1, 7-13-6-2, 7-13-6-3）

西崎幹事より説明があった。6月に小委を2回開催し、報告書原稿を完成させる。6月末に幹事会へ報告書確認原稿を送付する予定である。出版企画書についても説明があった。

H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料幹7-13-7）

牧幹事より説明があった。部材毎の耐荷メカニズムに関する議論を一通り実施したので、今後は材料の損傷メカニズムの観点からの議論および整理を行う。とりまとめ内容の検討を行っている。

(16) 第3回委員会議事次第（資料幹7-14）

池田幹事長より説明があった。当日の議事の円滑な進行に協力が依頼された。三浦顧問の功績賞受賞について、委員長挨拶時に紹介し、懇親会においてご挨拶を頂くこととする。H180は山本委員長より成果報告がある。H211については確認する。

(17) 「社会インフラメンテナンス工学」テキストブックの構成（案）に対する意見（資料幹7-15-1, 7-15-2）

池田幹事長より説明があった。回答案について意見があれば21日までに池田幹事長に連絡をする。

(18) 「FRP水門設計・施工指針（案）」講習会 報告（資料幹7-16-1, 7-16-2）

西崎幹事より説明があった。決算は収入200万円で支出204万円であったが、講習会の黒字により収支赤字は容認された。HP掲載用のQ&Aについて気づいたことがあったら、23日までに西崎幹事に連絡する。その後HPに掲載される。

(19) その他（資料幹7-1）

・300年プロジェクトの今後

古市幹事より説明があった。WGメンバーとして滝本幹事と西崎幹事にも入ってもらう。具体的なところは今後検討する。

・国際センター通信への情報提供

池田幹事長より説明があった。定期的に発行されており、何か情報提供があれば池田幹事長に連絡する。

以 上

(記録・文責：松本高志)